

行政視察報告

視察日時	令和2年11月11日(水) 9時30分～ 11時00分
視察場所	群馬県館林市役所
視察項目	発達障がい者支援事業について
視察者	民生常任委員会委員7名 同行当局職員1名 事務局職員1名
視察概要	<p>発達障がいの中でも自閉スペクトラム症の早期発見・診断の取り組みについて視察を行いました。</p> <p>館林市では、平成24年度から障がい者福祉に関して、社会福祉課を事務局としては、こども福祉課、健康推進課、学校教育課の関係4課が連携し、発達障がい者支援関係者会議を月1回開催しているとのことでした。</p> <p>また、平成26年度から、当時群馬大学大学院医学系研究科小児科分野の講師をされていた岡田恭典医師による診断告知を開始し、早期療育につながっているとの説明でした。</p> <p>発達障がい児に関わる支援者の育成については、研修会や講演会を開催し、福祉事業所職員や教職員、市民などに参加いただくことで、発達障がいに関する基本的な知識の習得に努めていました。</p> <p>民間との連携については、NPO法人「SUN Tatebayashi (サン・タテバヤシ)」が運営している「ぽん！ぽん！キッズ」と「ぽん！ぽん！キッズα」を受け皿として、館林市発達障がい早期発達支援事業として業務委託をしているとのことでした。</p> <p>「ぽん！ぽん！キッズ」では、館林保健センター及び医療機関で自閉症スペクトラム症(ADS)と診断を受けた子どもに対し、社会性やコミュニケーション発達に関する支援、視覚支援、ご家族に対する支援を柱に、無料で9回実施しており、9回の支援を終えた子どもに対しては、「ぽん！ぽん！キッズα」で親と子を対象に自閉スペクトラム症について1回、親子の関りについて2回の全3回を無料で実施しておりました。</p> <p>館林障がい者総合支援センターについては、平成26年度に開設され指定管理者による管理運営を行っておりました。在宅重度心身障がい者等デイサービス事業、地域活動支援センター事業、児童発達支援事業、放課後等デイサービス事業、相談事業の5つの事業を実施しており、事業所の職員も発達障がいに関する研修に参加することで、専門職としてのスキルを高めているとのことでした。</p>

本市に生かせる視点	<p>視察を通じて発達障がい児・者支援に関係4課が連携して対応している点は、本市でも取り組むべき姿を示していただきました。補足説明では、岡田恭典医師と、縦割り行政の改善に取り組んだ館林市健康福祉部長の存在が大きかったとの説明を受け、本市においても関係課との連携強化を進める必要があると考えられます。</p> <p>また、障がい者総合支援センターやNPO法人との連携など重層的な支援体制の構築は、保護者と子どもが安心して生活を送る基盤となっていることから、特に連携できるNPO法人の育成や支援策を模索すべきと考えます。</p> <p>本市では、令和3年4月1日から米沢市立ひまわり学園を福祉型発達支援センターとすることが決定していることから、本市の実情を踏まえた機能強化と、個人のライフステージに合わせた支援を更に充実させるためにも、視察内容を参考にしながら十分な検討を重ねていくべきだと考えます。</p>
-----------	--